



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月13日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 近藤 規央

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 2021年10月13日

配当支払開始予定日

2021年11月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	10,083	24.1	313		617		444	
2021年2月期第2四半期	8,127	25.0	221		134		143	

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 990百万円 (%) 2021年2月期第2四半期 412百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	121.16	
2021年2月期第2四半期	39.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	26,660	21,670	72.7	5,285.56
2021年2月期	25,665	20,741	72.4	5,069.80

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 19,384百万円 2021年2月期 18,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		25.00		15.00	40.00
2022年2月期		15.00			
2022年2月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,080	15.7	690		910	838.9	500		136.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	4,306,778 株	2021年2月期	4,306,778 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	639,336 株	2021年2月期	639,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	3,667,529 株	2021年2月期2Q	3,667,861 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの受注環境及び生産態勢は依然として不透明感が続いております。また、米中の貿易摩擦などによる先行きの不透明さは依然として継続している状況にあり、中国子会社をはじめとする当社グループの受注環境に影響を及ぼしております。さらに、世界的に半導体不足の影響が深刻化しており、先行きの不透明感が一層強まっている状況となっております。

わが国経済におきましても、政府による緊急事態宣言は発出と解除を繰り返している状況にあり、一部の業種に持ち直しの兆しが見えるなど国内経済は緩やかに回復しつつあるもの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には至っておりません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発への投資は継続されるものの、東南アジアからの部品供給不足や世界的な半導体不足の影響により生産額の計画値に対して下振れリスクが懸念され、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは工作機械の製造に実績のある志賀機械工業株式会社を新たな仲間として迎え、収益基盤の強化を図るべく新たな取り組みを開始しております。また、データとデジタル技術を活用し、新たなビジネススタイルを創造していくことを目的としたDX管理室を新設し、中期的な競争力の強化を狙った活動を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,083百万円（前年同四半期比24.1%増）、営業利益は313百万円（前年同四半期は221百万円の営業損失）、経常利益は617百万円（前年同四半期は134百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は444百万円（前年同四半期は143百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、足元の設備投資は回復傾向にあり、工具、治具等の売上也堅調に推移したことなどにより、売上高は4,622百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

また、経費最小活動により売上原価や販売管理費を圧縮したものの、生産調整による固定費負担増などにより、セグメント損失は35百万円（前年同四半期は212百万円のセグメント損失）となりました。

②アジア

当地域におきましては、中国を中心に、新型コロナウイルスの感染拡大により失速していた自動車生産が回復し、売上高は3,077百万円（前年同四半期比29.0%増）となりました。

また、超硬素材高騰による材料費の増加や労務費高騰などにより売上原価が増加しているものの、経費削減を進めたことなどにより、セグメント利益は136百万円（前年同四半期は127百万円のセグメント損失）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、個人消費を中心に需要が増加し、自動車産業界も一時は供給が追いつかない状況となるなど、国内生産が好調に推移したことから、売上高は1,224百万円（前年同四半期比66.2%増）となりました。

また、まとまった受注が入ることで生産性が大幅に向上し、セグメント利益は108百万円（前年同四半期比1,290.9%増）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は869百万円（前年同四半期比27.8%増）となりました。

また、堅調な受注に支えられ利益を確保することとなり、セグメント利益は62百万円（前年同四半期比53.6%増）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は290百万円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比267.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は26,660百万円となり、前連結会計年度末と比較して、994百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が322百万円、受取手形及び売掛金が213百万円減少したものの、有価証券が831百万円、土地が671百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,989百万円となり、前連結会計年度末と比較して、65百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が298百万円減少したものの、長期借入金が150百万円、未払法人税等が109百万円、1年内返済予定の長期借入金が95百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は21,670百万円となり、前連結会計年度末と比較して、929百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が389百万円、為替換算調整勘定が307百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は72.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して、130百万円増加し、8,320百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は1,034百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額226百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益710百万円、減価償却費526百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は785百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出352百万円、有形固定資産の取得による支出288百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は305百万円（前年同四半期比356.0%増）となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額△343百万円、配当金の支払額55百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,977,563	7,655,559
受取手形及び売掛金	3,325,792	3,112,550
電子記録債権	951,452	1,100,691
有価証券	461,684	1,293,263
商品及び製品	1,498,854	1,407,697
仕掛品	556,730	596,762
原材料及び貯蔵品	444,355	595,443
その他	495,759	322,383
貸倒引当金	△73,239	△78,837
流動資産合計	15,638,953	16,005,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,853,958	1,876,078
機械装置及び運搬具(純額)	4,262,487	4,189,963
土地	1,456,649	2,127,737
建設仮勘定	23,123	56,777
その他(純額)	236,003	213,520
有形固定資産合計	7,832,222	8,464,076
無形固定資産		
投資その他の資産	268,638	366,335
投資有価証券	1,414,174	1,302,411
長期貸付金	4,599	6,769
繰延税金資産	348,519	322,655
その他	186,429	217,244
貸倒引当金	△28,174	△24,846
投資その他の資産合計	1,925,549	1,824,235
固定資産合計	10,026,410	10,654,646
資産合計	25,665,363	26,660,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,185,618	1,011,327
短期借入金	826,202	528,011
1年内返済予定の長期借入金	106,830	202,499
未払法人税等	46,015	155,661
賞与引当金	126,588	173,165
その他	1,530,194	1,337,724
流動負債合計	3,821,450	3,408,390
固定負債		
長期借入金	82,849	233,701
繰延税金負債	—	164,343
退職給付に係る負債	848,894	967,026
役員退職慰労引当金	—	40,860
その他	170,778	174,866
固定負債合計	1,102,522	1,580,797
負債合計	4,923,972	4,989,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,614	4,162,611
利益剰余金	13,334,986	13,724,326
自己株式	△918,349	△918,675
株主資本合計	19,461,267	19,850,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,232	380,432
為替換算調整勘定	△412,070	△104,810
退職給付に係る調整累計額	△810,078	△741,426
その他の包括利益累計額合計	△866,917	△465,803
非支配株主持分	2,147,040	2,286,496
純資産合計	20,741,390	21,670,972
負債純資産合計	25,665,363	26,660,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	8,127,557	10,083,994
売上原価	6,481,723	7,768,250
売上総利益	1,645,834	2,315,744
販売費及び一般管理費	1,867,543	2,002,546
営業利益又は営業損失(△)	△221,708	313,198
営業外収益		
受取利息	21,521	20,730
受取配当金	15,094	36,351
為替差益	—	92,922
持分法による投資利益	—	46,081
技術指導料	40,886	31,993
その他	52,959	78,392
営業外収益合計	130,461	306,471
営業外費用		
支払利息	4,446	2,204
売上割引	365	131
為替差損	18,726	—
持分法による投資損失	19,514	—
その他	261	308
営業外費用合計	43,314	2,644
経常利益又は経常損失(△)	△134,561	617,025
特別利益		
固定資産売却益	443	49
投資有価証券売却益	—	102,130
特別利益合計	443	102,180
特別損失		
固定資産除売却損	714	7,249
投資有価証券売却損	—	875
投資有価証券評価損	26,199	—
ゴルフ会員権評価損	—	302
特別損失合計	26,914	8,426
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,032	710,778
法人税、住民税及び事業税	51,131	165,726
法人税等調整額	△16,777	31,340
法人税等合計	34,353	197,067
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195,386	513,711
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,240	69,356
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△143,145	444,354

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195,386	513,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,734	25,200
為替換算調整勘定	△326,606	385,238
退職給付に係る調整額	87,275	68,306
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,328	△2,296
その他の包括利益合計	△216,924	476,448
四半期包括利益	△412,310	990,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294,960	845,468
非支配株主に係る四半期包括利益	△117,349	144,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,032	710,778
減価償却費	519,484	526,509
持分法による投資損益(△は益)	19,514	△46,081
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39,937	△20,671
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,130	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,482	44,458
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,741	△3,781
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	540
受取利息及び受取配当金	△36,615	△57,082
支払利息	4,446	2,204
有形固定資産除売却損益(△は益)	270	7,200
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△101,255
投資有価証券評価損益(△は益)	26,199	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,504,748	214,915
たな卸資産の増減額(△は増加)	173,452	104,263
仕入債務の増減額(△は減少)	△745,572	△226,148
その他	△79,135	△116,253
小計	1,205,435	1,039,595
利息及び配当金の受取額	36,563	57,027
利息の支払額	△2,278	△1,848
法人税等の還付額	—	74,961
法人税等の支払額	△89,743	△134,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149,977	1,034,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△77,810
有価証券の取得による支出	△209,945	△203,875
有価証券の売却及び償還による収入	55,128	274,464
有形固定資産の取得による支出	△616,331	△288,250
有形固定資産の売却による収入	3,736	78
貸付けによる支出	△1,391	△2,786
貸付金の回収による収入	1,027	515
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△352,657
その他	△43,670	△134,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△811,445	△785,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,853	△343,743
長期借入れによる収入	98,871	200,000
長期借入金の返済による支出	△59,896	△105,500
自己株式の売却による収入	107	54
自己株式の取得による支出	△371	△382
配当金の支払額	△91,612	△55,151
非支配株主への配当金の支払額	△2,783	△1,035
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△529	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,068	△305,847
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157,613	186,949
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	113,849	130,555
現金及び現金同等物の期首残高	8,162,636	8,189,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,276,486	8,320,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

当社及び国内連結子会社2社は、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受け、助成金の支給見込額49,465千円を販売費及び一般管理費ならびに当期製造費用の給料手当から控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,098,053	2,385,763	736,895	680,647	7,901,360	226,197	8,127,557	—	8,127,557
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	864,384	279,897	784	—	1,145,067	5,677	1,150,744	△1,150,744	—
計	4,962,438	2,665,661	737,680	680,647	9,046,427	231,874	9,278,302	△1,150,744	8,127,557
セグメント利益又 は損失(△)	△212,267	△127,369	7,828	40,389	△291,418	6,291	△285,126	63,418	△221,708

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日 至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,622,098	3,077,043	1,224,772	869,581	9,793,496	290,497	10,083,994	—	10,083,994
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,109,726	349,155	19	—	1,458,901	13,291	1,472,192	△1,472,192	—
計	5,731,824	3,426,199	1,224,792	869,581	11,252,397	303,788	11,556,186	△1,472,192	10,083,994
セグメント利益又 は損失(△)	△35,497	136,168	108,885	62,048	271,605	23,124	294,729	18,468	313,198

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。